

平成29年度

事業報告書

平成29年度 高崎市社会福祉協議会事業報告

改正社会福祉法が平成29年4月1日から全面施行され、前年度に整備した定款をはじめ諸規程に沿って理事会及び定時評議員会を経て、新たな組織体制のもと、法人運営に取り組みました。また、地域福祉を推進する中核的な組織としての社会福祉協議会は、他の社会福祉法人や地域住民、関係機関と共に地域における公益的な取組が求められています。

このような中で、当協議会では誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して高崎市が行う生活支援体制整備事業の会議に参加し、地域住民や関係機関等が進めている体制づくりに協力しました。

また、多様化、深刻化する生活課題を抱え孤立している世帯に対して、地域のあんしんセンターや民生委員児童委員などと連携しながら根気よく関わり、時間をかけて信頼関係を築いていく中で、公的なサービスや買物代行業などのインフォーマルなサービスの利用につなげるなど、孤立からの脱却および課題解決に向け取組みました。

次に生活困窮者支援について、生活福祉資金貸付事業や行政が実施している生活困窮者自立相談支援事業への職員の出向などの他に、食品ロスをなくすイベントで集まった食品を当協議会が仲介し、子ども食堂や無料学習塾、ホームレス支援団体を通じて食料を必要としている人に届けました。また、歳末たすけあい募金の本旨である生活困窮者等への支援として、支援団体に歳末時期のイベントや生活必需品購入費用の一部を助成しました。

一方、介護関係事業では、慢性的な人材不足や利用者の減少などから、経営状況は依然として厳しい状況にありますが、改善に向けた検証を進めながら利用者本位のサービスに努めました。

以上により、当協議会の平成29年度事業は、市民や関係機関団体等と連携を図りながら、地域福祉推進のため事業を展開しました。

1 理事会・評議員会等開催状況

会議名	年 月 日	会場	議 題
監 事 会	29年5月18日	福祉団体室	平成28年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会事業報告並びに社会福祉事業、公益事業及び収益事業決算監査
理 事 会	29年5月30日	会議室4	報告 第1号 平成28年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会社会福祉事業補正予算 議案 第6号 任期満了に伴う理事及び監事候補者の選考について 第7号 苦情対応第三者委員の選考について 第8号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会評議員選任規程の一部改正について 第9号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営規則の一部改正について 第10号 平成28年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会事業報告並びに社会福祉事業、公益事業及び収益事業決算について
定時評議員会	29年6月16日	会議室4	議案 第7号 任期満了に伴う理事及び監事の選任について 第8号 苦情対応第三者委員の承認について 第9号 平成28年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会事業報告並びに社会福祉事業、公益事業及び収益事業決算について
理 事 会	29年6月16日	会議室4	議案 第11号 会長、副会長及び常務理事の選定について 報告 第2号 会長及び常務理事の職務執行状況について 議案 第12号 評議員選任・解任委員の選任について 第13号 評議員選任候補者の推薦について 第14号 評議員選任・解任委員会の開催について
評議員選任・解任委員会	29年6月23日	会議室4	議案 第3号 評議員の選任について
理 事 会	30年3月20日	会議室4	報告 第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について 第2号 平成29年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会社会福祉事業及び公益事業補正予算（第1号） 議案 第1号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会経理規定の一部改正について 第2号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について 第3号 評議員会の開催について 第4号 平成29年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会社会福祉事業及び公益事業補正予算 第5号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会定款の一部変更について 第6号 平成30年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会事業計画並びに社会福祉事業、公益事業及び収益事業予算 第7号 苦情対応第三者委員の選考について 第8号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会役員の報酬等に関する規程の制定について

会議名	年 月 日	会場	議 題
評議員会	30年3月28日	会議室4	報告 第1号 平成29年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会社会福祉事業及び公益事業補正予算（第1号） 議案 第1号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会役員の報酬等に関する規程の制定について 第2号 平成29年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会社会福祉事業及び公益事業補正予算（第2号） 第3号 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会定款の一部変更について 第4号 平成30年度社会福祉法人高崎市社会福祉協議会事業計画並びに社会福祉事業、公益事業及び収益事業予算 第5号 苦情対応第三者委員の承認について

2 社会福祉事業

(1) 会員体制（会費収入）

当協議会の目的に賛同する個人、団体及び施設等から納入された会費は、ふれあいサロンや地区社協、学童クラブ等へ助成し地域福祉の向上のため、有効に活用した。

ア 一般会費

	町内数(a)	世帯数(b)	目標額(c) = (b) × 200円	会費収入(d)
本所	342町内	112,537世帯	22,507,400円	13,047,829円
倉渕	8町内	1,292世帯	258,400円	247,800円
箕郷	41町内	7,219世帯	1,443,800円	1,217,600円
群馬	30町内	16,395世帯	3,279,000円	2,314,400円
新町	10町内	4,822世帯	964,400円	924,400円
榛名	62町内	6,962世帯	1,392,400円	1,270,400円
吉井	36町内	8,798世帯	1,759,600円	1,376,600円
合計	529町内	158,025世帯	31,605,000円	20,399,029円

イ 特別・施設会費、団体会費

(単位：円)

区 分	会 費 収 入	備 考
特別会員	713,000	・保護司会・長寿会連合会・更生保護女性会 ・心身障害者等連絡協議会・ボランティアグループ連絡協議会・民生委員児童委員協議会 ・婦人会連合会・各民生委員児童委員
施設会員	353,000	・保育園62園・社会福祉施設291カ所
団体会員	215,000	・地区社会福祉協議会33地区
合 計	1,281,000	

(2) 共同募金

共同募金推進計画に基づき、群馬県共同募金会を通じて当協議会に配分された配分金を地域福祉の充実を目的とした事業に活用した。

ア 共同募金配分金事業

(単位：円)

支会名	地域配分金収入	配分金支出	摘 要
高崎市支会	10,033,000	3,051,000	ふれあいサロン助成金
		4,955,380	社協広報紙発行費用
		1,944,000	福祉バス運行事業
		82,620	その他地域福祉活動事業

イ 歳末たすけあい募金配分金事業

(単位：円)

支会名	配分金収入	配分金支出	摘 要
高崎市支会	1,400,000	1,350,000	ふれあいサロン助成金
		50,000	生活困窮者支援助成金

(3) 金品の寄附

寄せられた寄附金は、その意思を尊重し高齢者、障害者福祉等に活用するとともに福祉基金に積立を行った。また、寄附物品は施設や団体等に配布し有効に活用した。

ア 現金

区 分		金 額	件 数
一般寄附	法 人 運 営	1,143,812円	40件
	善 意 銀 行 (基 金)	1,044,343円	7件
	ふれあい広場 (協賛金)	200,000円	9件
	おもちゃの図書館	50,000円	1件
	配 食 サ ー ビ ス	103,000円	2件
	児 童 館	200,000円	4件
指定寄附	障 害 者	112,277円	4件
	高 齢 者	165,622円	7件
	児 童	61,892円	6件
合 計		3,080,946円	80件

イ 物品

物 品	数 量	備 考
車椅子	5台	
タオル類	5,277枚	タオル、ハンカチ、ふきん 他
介護用品	4点	紙おむつ、車椅子用スロープ
米	120kg	
文具	2,400枚	折り紙
招待券	248枚	大日本プロレス高崎市社会福祉チャリティ大会チケット、かいけつゾロリ大冒険展入場券
その他		全自動洗濯機、自転車等、手作り品 他
ふれあいの広場（協賛品）		ティッシュ、菓子

(4) 地区社会福祉協議会活動の推進

地区社会福祉協議会は、地域住民が自分たちの生活する地域の福祉課題やニーズを主体的に捉え問題解決に向け自発的に取組む組織で、区長、民生委員児童委員、ボランティア等が中心になってさまざまな活動を通じて、市内33全地区で地域福祉づくりを進めている。

ア 主な活動実績

活動区分	主な内容	実施地区数
研修会、視察等	施設等見学、地区内サロン交流研修会、地区内小中学校情報交換会	26
芸能祭等	高齢者ふれあい交流芸能祭、スポーツ大会、作品展示会	21
見守り活動	友愛訪問、一声かけ運動、ひとり暮らし高齢者配食、防犯パトロール	20
世代間交流	小学生へ「昔の遊び」を伝授、こどもフェスティバル、独居老人へ小学生から花をプレゼント	10
その他の活動	福祉バザー、廃食用油回収・石鹸づくり、チャリティーゴルフ、地区社協だより	8

イ 地区社協会長研修会

(単位：人)

日 程	内 容	会 場	参加者
7月24日	「我が事・丸ごと」地域共生社会について	市総合福祉センター	26
2月20日	地域における防災への取組について	市総合福祉センター	29

(5) 高齢者や子育てサロン活動への支援

高齢者のふれあい・いきいきサロンや、ふれあい・子育てサロンを新規で立ち上げるための相談や情報の提供、サロン交流会の開催、活動メニューに対する相談支援、活動費に対する助成などの支援を行った。

ア ふれあい・いきいきサロン活動費の助成

	サロン数	助成金
28年度	333	13,825,000円
29年度	342	14,224,000円

イ ふれあい・子育てサロン活動費の助成

	サロン数	助成金
28年度	40	1,680,000円
29年度	37	1,554,000円

ウ 高崎市ふれあい・いきいきサロン推進連絡会の開催

地区社協から推薦された各地区のサロン代表者が一堂に会し、意見交換や情報共有を図ることを目的に開催した。

- ・日 時 平成29年9月1日（金）
- ・参加数 25人

エ 高崎市ふれあい・いきいきサロン交流研修会の開催

日頃、各地域においてサロン活動を実践している運営者等が一堂に会し、先進的な取り組みについての活動報告やレクリエーション紹介を受けることで、情報の共有やさらなる活動の発展と活動者同士の交流を図ることを目的に開催した。

- ・日 時 平成30年3月7日（水）
- ・会 場 箕郷文化会館ホール
- ・参加数 497人

(6) 「社協たかさき」の発行

地域住民に広く当協議会事業の周知及び社会福祉に対する啓発を行い、当協議会と地域住民が連携を密にして社会福祉の向上を図ることを目的に広報を発行した。

項 目	回数・部数
発 行 回 数	4回
発 行 部 数	159,800部
編集委員会開催数	4回

(7) 福祉バスの運行

地区社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会等の登録団体が研修会等でバスを使用し、社会福祉の増進に寄与することを目的に本所、箕郷支所、群馬支所で福祉バスを運行した。

ア 団体利用状況

区 分		市社協	地区社協	民児協	福祉団体	ボランティア団体	合 計
本所	回数	6回	94回	3回	0回	20回	123回
	人員	209人	2,952人	83人	0人	610人	3,854人
箕郷	回数	10回	74回	2回	7回	9回	102回
	人員	165人	1,463人	40人	112人	149人	1,929人
群馬	回数	6回	61回	5回	6回	5回	83回
	人員	90人	1,037人	100人	79人	83人	1,389人

イ 月別利用状況

(単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本所	19	19	11	9	1	12	19	19	5	2	1	6	123
箕郷	16	14	11	6	1	6	15	18	6	1	3	5	102
群馬	7	13	11	5	1	4	17	16	2	2	2	3	83
合計	42	46	33	20	3	22	51	53	13	5	6	14	308

(8) 地域福祉活動

ア 地域連携会議への参加

主に高齢者福祉に関する課題の協議や、地域でたすけあいを必要とする人を支援する体制づくりの一環として高齢者あんしんセンターが主催する「地域連携会議」に参加した。

(単位：回)

	本所	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	計
28年度	30	1	6	8	6	6	10	67
29年度	4	1	3	8	6	6	10	38

イ 生活支援体制整備事業

高崎市が推進する地域包括ケアシステムの生活支援体制整備事業の会議に地区担当職員が参加し、住民や関係機関等が行うニーズ把握や支えあいの仕組みづくりに協力した。

(単位：回)

	本所	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	計
28年度	123	12	0	24	12	9	0	180
29年度	170	7	7	31	12	12	12	251

(9) 法外援護

無銭旅行者援護費の貸与や、罹災した世帯へ火災見舞金の支給を行った。

法外援護支給状況 (単位：件)

区分	地域	支給件数	返済件数
無銭旅行者 援護費	本所	34	8
	新町	3	0
	吉井	0	0
	計	37	8
罹災援護	全域	16	—

(10) 子育て支援事業（箕郷）

0～3歳の未就園児をもつ親子を対象として、毎月第1・3火曜日に親子ふれあいサークルを行った。子育ての経験を持つボランティアが相談を受けたり、お母さん同士の情報交換の場にもなっている。

また、子育てに役立つ講座も開催した。

ア 親子ふれあいサークル

- ・開催回数 22回
- ・参加延人数 387組（818人）
- ・ボランティア延人数 146人
- ・内容 季節の簡単工作、ベビービクス&キッズビクス、写真撮影会、おもちゃ遊び、身長・体重計測 他

イ 子育てお役立講座

- ・内容 「幼児と親子のふれあい遊び」 10月24日（火）
「心身ともにリフレッシュ(ヨガ)」 10月31日（火）
- ・参加延人数 26人

(11) 受託事業

○手話通訳者派遣事業

聴覚障害者とその他の人との社会生活上の意思疎通を円滑にするため、意思伝達の手段として手話通訳者を派遣した。

- ア 登録手話通訳者 51人
- イ 設置手話通訳者 3人（常勤2人、非常勤1人）
- ウ 派遣依頼件数 1,108件
- エ 手話通訳者派遣数 1,170人（複数派遣48件を含む）

派遣手話通訳者の内訳 (単位：人)

	登録手話通訳者	設置手話通訳者	他機関の手話通訳者	合計
28年度	790	432	12	1,234
29年度	851	299	20	1,170

派遣内容別の内訳

(単位：件)

	医療健康	権利保持	職業労働	教育保育	生活	福祉	団体活動	会議	大会行事	運転免許	資格取得	冠婚葬祭	その他	合計
28年度	782	16	30	37	54	153	18	69	51	8	2	14	0	1,234
29年度	767	9	21	50	40	114	23	34	35	31	24	20	2	1,170

- オ 高崎市手話通訳事業等運営委員会開催 4回
- カ 登録手話通訳者現任研修 5回
- キ 頸肩腕障害特殊健診受診 5人
(設置手話通訳者及び高崎市手話通訳者派遣事業のみ登録の手話通訳者を対象)
- ク 設置通訳者対応件数
 - ・相談件数 614件
 - ・電話通訳件数 111件
 - ・連絡打合せ件数 589件

○第40回たかさき市民福祉大会の開催（高崎市と共催）

市民が共に生きることができる福祉のまちづくりを推進することを目的として、ボランティア顕彰、社会福祉事業功労者表彰、アトラクション、講演を実施した。

- ア 日 時 平成30年2月17日（土）
- イ 会 場 高崎市文化会館
- ウ 来場者数 730人
- エ 受賞者数 ボランティア顕彰 個人18人、団体4団体
社会福祉事業功労者表彰 4団体
- オ アトラクション たかしぶせんライブ
出 演 現役男性保育士ユニット「たかしぶせん」
- カ 講 演 『お笑い理学療法士登壇！
～笑いであなたを癒します～』
講 師 ^{ひなたてい}日向亭 ^{あおい}葵 氏（お笑い理学療法士）

○吉井東学童クラブの経営（吉井）

保護者が仕事等により昼間留守になる家庭の児童を対象として、遊びや生活の場を提供し、放課後児童の健全育成を行った。

利用状況

	開所日数	在籍数	年間利用延人数
28年度	290日	27人	4,134人
29年度	290日	28人	4,288人

(12) 福祉ボランティアの町づくり事業

市民がともに手を取り合い心のふれあうまちづくりを推進するため、ボランティアセンターを運営し、各種ボランティア講座の開催や啓発行事の実施、情報提供、ボランティアコーディネートを行いボランティア活動の活性化を図った。

ア 主催行事等

期 日	講 座 名	内 容	会 場	参加者
8月7日～8日	サマーボランティア体験講座	高齢者や障害者の特徴について学び、施設でのボランティア活動を体験した。	群馬福祉会館 他、群馬地域 内福祉施設	33人
8月23日	子ども向けボランティア 音楽レクリエーション	大学生を対象に、音楽の持つ様々な効果を学び、子ども向けボランティア活動に活かせるレクリエーションを学んだ。	榛名公民館	16人
8月30日	子ども向けボランティア ふれあい養成講座 (バルーンアート)	大学生を対象に、ペンシルバルーンの基本的動作を学び、子ども達に教える体験した。また、子どもたちも作品を完成する達成感を味わった。	榛名公民館	学生・一般 8人 小学生33人
9月23日	第31回高崎ふれあいの広場開催	地区社会福祉協議会、ボランティアグループ、福祉団体、各種団体、行政等が一堂に会し、心ふれあう町づくりを推進するため広場を開催した。	もてなし広場	7,000人
11月16日 21日 28日 (全3回)	介護食調理講座	介護食の基礎、おいしく食べやすい調理、家族と同じメニューなど、介護食の工夫を学んだ。	箕郷福祉会館	43人
12月11日	災害ボランティア講座	「地域防災とボランティアの役割について」HUGというゲームを通して避難所運営について学んだ。	吉井福祉センター	20人
12月14日 12月20日	傾聴ボランティア講座	新たな傾聴ボランティアの養成を行うと共に、傾聴のスキルを身につける機会を持った。	市総合福祉センター	延べ52人
1月23日	スクールサポーターフォローアップ講座	サポーターのスキルアップと共に活動内容について認識を深め合い、さらに豊かな福祉教育の実施を目指した。	市総合福祉センター他	11人

期 日	講 座 名	内 容	会 場	参加者
2月23日	らくらく家庭介護講座	寸劇で認知症の対応知識を学んだ。(午前の部) 身体の機能を利用して、負担を掛けずに介護する方法を学んだ。(午後の部)	榛名福祉会館	午前 18人 午後 10人

イ ボランティア相談・コーディネート

・ボランティア相談受付数

ボランティアセンターに寄せられた相談に対応し、助言や情報提供を行った。

(単位：件)

	28年度	29年度
相談件数	72	72

・ボランティアニーズ受付数

ボランティアを必要とする団体や施設からのニーズを受け、ホームページへの掲載やコーディネートを行った。

(単位：件)

	28年度	29年度
ニーズ受付数	200	258

ウ ボランティアグループ登録状況

市内で活動するボランティアグループの登録を受け、活動状況を把握した。

	28年度	29年度
グループ数	175	170
人 数	7,117人	6,319人

エ ボランティア活動保険の補助

登録ボランティアグループの会員を対象にボランティア活動保険料の一部として、1人100円の助成をした。

	人数	金額
28年度	3,820人	382,000円
29年度	3,727人	372,700円

※行政等の補助を受けている団体を除く

オ ボランティアグループ活動補助金の交付

社会福祉活動の増進を目的として市内で活動するボランティアグループに対して、活動費の一部を補助した。

	補助団体数	金額
28年度	63団体	1,367,290円
29年度	64団体	1,425,740円

カ 車いす等対応車両貸出サービス事業

高齢者や障害者の通院、通所、買物などの日常生活や、家族旅行や冠婚葬祭などの外出を支援するため、車いす等対応車両の貸出サービスを実施した。

貸出件数

(単位：件)

	本所	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	合計
28年度	131	105	105	55	83	55	534
29年度	119	128	120	63	65	69	564

キ 福祉用具貸出事業(車いすの貸出)

一時的に車いすが必要な方に対して、車いすの貸し出しを行った。

車いす貸出申請件数(団体貸与含む)

(単位：件)

	本所	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	合計
28年度	241	2	28	39	24	24	30	388
29年度	266	1	54	53	16	29	35	454

ク 福祉教育の推進

福祉教育を推進する中で、幼少期や児童期に福祉への理解と関心を高めることが期待されている。また、企業においては高齢社会を迎え、高齢者や障害のあるお客様が増加していることから、スタッフへの福祉教育が求められている。

当協議会に依頼のあった学校や企業に、福祉用具の貸し出しや職員が出向いての指導を行なった。

(単位：回)

地域	貸出・講師派遣数	内 容
本所	小学校 13	車いす貸出、高齢者疑似体験用具貸出、簡易点字器貸出、アイマスク貸出 車いす体験・介助指導、高齢者疑似体験指導 ブラインドウォーク・ガイドヘルプ指導、福祉講話 ※スクールサポーター派遣(16回)
	中学校 3	
	高等学校 1	
	企業・団体等 6	
	地域 1	
倉渕	小学校 1	車いす体験学習、高齢者疑似体験指導
	中学校 1	
箕郷	小学校 7	車いす体験学習、高齢者疑似体験、ブラインドウォーク体験、福祉会館・福祉作業所・福祉車両見学、福祉講話、地区社協行事参加、やるベンチャー受入(5日間)
	中学校 1	
群馬	小学校 6	車いす貸出、高齢者疑似体験用具貸出、アイマスク貸出、車いす体験学習、高齢者疑似体験指導、ブラインドウォーク体験指導
	企業・団体等 6	
	地域 1	
新町	小学校 5	車いす貸出、高齢者疑似体験用具貸出 高齢者疑似体験指導、車いす体験講座指導 施設見学(長寿センター)受入、高齢者との交流
	中学校 2	
	大学 8	
	企業・団体等 4	

地域	貸出・講師派遣数	内 容
榛名	小学校 2	中室田小学校 車いす体験学習、高齢者疑似体験、アイマスク貸出 上室田小学校 高齢者疑似体験用具貸出
吉井	小学校 企業 9 2	車いす貸出、高齢者疑似体験用具貸出、簡易点字器貸出、 アイマスク貸出、 講師紹介、運輸局バリアフリー教室

ケ 買物困難者等への支援

○高齢者等買物代行事業

日常的な買物に困難を抱えている高齢者等を対象に、登録ボランティアによる日常生活用品の買物を代行する高齢者等買物代行事業を実施した。広報等で広く市民に事業周知を行うと共に、長寿会や婦人会のボランティア協力を得て、円滑な利用促進に努めた。

また、利用者それぞれの状況に合わせてボランティアとのマッチングを行い、週に1回から月に1回の頻度で買物代行を実施した。

利用者と定期的に顔を合わせるボランティアならではの気づきが安否確認をはじめ、その他の生活課題の把握へつながり、その後も行政や高齢者あんしんセンター等と協力、連携しながら関わりを持った。

実施状況

項 目	28年度	29年度
登録ボランティア数	206人 (男性47人、女性159人)	213人 (男性50人、女性163人)
利用者登録数	144人	104人
延べボランティア稼働数	680人	695人
延べ利用者数	799人	789人
延べ代行稼働件数	2,871件	2,814件

○倉渚地域高齢者買い物支援事業

倉渚地域内の買い物弱者対策のため、公共交通空白地（旧過疎地）有償運送の制度により自宅から倉渚地域内の商店または最寄りのバス停まで、有償運転ボランティアが送迎するサービスを行った。

- ・ 運行日時及び運行地域 毎週月～金曜日 9:30～17:00（倉渚全域）

実施状況

項 目	28年度	29年度
運転ボランティア	7人	8人
利用登録者数	45人	48人
運行回数	158回	187回
延べ利用者数	203人	225人

コ 傾聴ボランティア派遣事業

日頃から人と接する機会の少ない高齢者に対し、話し相手をしながら時間を共有することで、より充実した日常生活を過ごせるよう支援するため、傾聴ボランティアを派遣した。

あんしんセンターや買い物代行業業など、様々な形でのニーズの掘り起こしが進み、傾聴ボランティアの派遣につながっている。認知症高齢者や一人暮らし高齢者など難しい対応が求められるケースもあるが、地域の力＝ボランティアが持つ能力を活かした派遣事業の意義は大きい。

実施状況

	地域	本所	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	合計
28年度	利用者実数	25人	0人	2人	2人	1人	1人	0人	31人
	訪問回数	215回	0回	21回	24回	1回	6回	0回	267回
29年度	利用者実数	25人	1人	1人	1人	0人	1人	0人	29人
	訪問回数	266回	11回	21回	8回	0回	7回	0回	313回

※傾聴ボランティア登録者数 77人

サ 各種保険の加入促進

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償するボランティア活動保険や行事用保険等への加入を促進するとともに、事故対応等の事務手続きを行った。

	ボランティア活動保険	行事用保険	福祉サービス総合補償	送迎サービス	火災保険	事故取扱
28年度	8,809人	413件	6件	3件	487件	25件
29年度	8,133人	236件	11件	4件	406件	25件

シ 収集物の受け入れ

学校や企業、団体等から寄せられたエコキャップ等の収集物を受入れ、有効に活用した。

品目	数量等	活用内容
エコキャップ	365kg	エコキャップ推進協会を通じて換金され、海外の医療支援・ワクチン支援や障害者支援、環境教育等、様々な社会貢献活動に充当
使用済み切手	段ボール箱2箱	県内の障害福祉施設に送り、利用者の余暇活動の制作材料として活用
アルミ缶プルタブ	20,412円	プルタブを換金し、当協議会の車いす貸出事業用の車いすの購入費用として積立てた

(13) 生活福祉資金事業

関係機関と協力し、援助が必要な低所得者世帯等に資金の貸付や相談支援を行った。

また、生活困窮者自立支援事業における支援調整会議に出席し、市との連携を図った。なお、市において、生活保護申請者で緊急的に一時的な生活費を必要とする方に貸付を行う、つなぎ資金貸付事業では、市に原資を預け運用をしてもらった。

ア 年間延べ相談件数 574件（昨年度738件）

イ 償還戸別訪問件数 189件

ウ 支援調整会議出席回数 12回

エ 生活福祉資金貸付及び償還業務

	貸 付		償 還		償還完了
	件数	金 額	件数	金 額	
28年度	44件	11,551,000円	1,074件	24,978,746円	38件
29年度	38件	8,279,000円	1,094件	17,238,039円	35件

オ つなぎ資金貸付件数 62件（貸付金額230,000円）

(14) 福祉総合相談事業

市民の福祉に関する相談に応じ、必要な助言や支援を行い、市民福祉の向上に資するため各相談事業を実施した。

○心配ごと相談事業

市民の心配ごとや悩みごと等の相談を受け、解決に向けて助言や専門機関への紹介を行った。

(単位：件)

相 談 内 容		処 理 状 況				取扱実件数
		解 決	再 来	他機関	その他	
1	生 計	1	0	0	0	1
2	年 金	0	0	0	0	0
3	職 業 ・ 生 業	0	0	1	0	1
4	住 宅	0	0	0	0	0
5	家 族	0	0	1	0	1
6	結 婚	0	0	0	0	0
7	離 婚	0	0	0	1	1
8	健 康 ・ 衛 生	2	0	0	0	2
9	医 療	1	0	0	0	1
10	精 神 衛 生	3	0	0	0	3
11	人 権 ・ 法 律	0	0	0	0	0
12	財 産	0	0	2	0	2
13	事 故	0	0	0	0	0
14	児童福祉・母子保健	0	0	0	0	0
15	教 育 ・ 青 少 年	0	0	1	0	1
16	障 害 児 者 福 祉	0	0	0	0	0
17	母子福祉・父子福祉	0	0	0	0	0
18	老 人 福 祉	0	0	0	0	0
19	苦 情	0	0	0	0	0
20	そ の 他	0	0	0	0	0
合 計		7	0	5	1	13

※相談者1人で複数部門の相談がある場合や、相談者が複数で一部門の相談がる場合、相談件数と相談利用者数は一致しない。

ア 相 談 員：民生児童委員12人、民生児童委員以外2人

イ 各相談所設置場所及び開設日

箕郷支所 箕郷福祉会館 毎月第3木曜日

群馬支所 群馬福祉会館 毎月第4水曜日

ウ相談所別実施状況

	箕郷支所	群馬支所
実施回数	12回	12回
利用人数	7人	4人

○結婚相談事業

結婚を希望する方へ、結婚相談室の実施とお見合いパーティーの開催により、出会いの機会を提供した。

ア 相談日 毎週水曜、木曜日及び第1、第2、第3土曜日

イ 場所 市総合福祉センター3階結婚相談室

ウ 相談員 3人

エ 結婚相談事業の登録状況

(単位：人)

	新規登録者数			登録者数(利用中)		
	男性	女性	計	男性	女性	計
28年度	51	34	85	290	183	473
29年度	59	33	92	277	164	441

オ 結婚相談室の実施状況

	実施日	相談件数(一日当り)	見合い件数	成婚報告数
28年度	130日	1,303件(10件)	171件	1組
29年度	133日	1,200件(9件)	160件	7組

カ お見合いパーティー開催状況(3回実施)

開催日	対象者年齢	参加者			カップル成立	開催場所
		男性	女性	計		
9月2日	47歳～62歳	13人	14人	27人	1組	市総合福祉センター
12月3日	40歳～49歳	20人	21人	41人	8組	市総合福祉センター
2月25日	30歳～39歳	21人	20人	41人	9組	市総合福祉センター

○高齢者電話相談事業(やすらぎ電話相談)

民生委員児童委員が、専用電話を用いて登録者に安否確認を行い、各種相談に応じるにより孤独感を解消し、やすらぎを供与した。

ア 相談日 毎週月曜日から金曜日の午前10時から午後2時
(登録者に順次電話をかける。)

イ 対象者 高崎市民で一人暮らし高齢者および高齢者世帯

ウ 登録者数 37人(平成30年3月31日現在)

エ 相談件数

(単位：件)

内 容 分 類	28年度	29年度
安否確認	1,901	2,025
生活・家庭・住居	4	12
健康・医療・介護	7	16
仕事・生きがい・趣味	4	5
法律・年金・税	0	0
市行政制度の紹介	0	0
その他	0	5
合 計	1,916	2,063

※相談員は、旧高崎区域の女性民生児童委員25人が担当

(15) 日常生活自立支援事業

高崎市に在住する認知症高齢者や知的障害者、精神障害者など判断能力の不十分な人を対象に、契約に基づき日常的な金銭管理の援助や通帳・印鑑の預かり等を適切に行った。

ア 相談件数

(単位：件)

	28年度	29年度
認 知 症 高 齢 者	3,024	2,258
精 神 障 害 者	614	701
知 的 障 害 者	1,537	2,297
そ の 他	2	2
合 計	5,177	5,258

イ 契約状況及び課税状況の内訳

	年度別契約締結件数		実利用者件数 (3月末現在)	
	28年度	29年度	28年度	29年度
認 知 症 高 齢 者	24件	9件	79件	72件
精 神 障 害 者	8件	5件	23件	23件
知 的 障 害 者	1件	3件	28件	29件
合 計	33件	17件	130件	124件
課 税 世 帯	1世帯	2世帯	11世帯	9世帯
非 課 税 世 帯	14世帯	4世帯	57世帯	48世帯
生 活 保 護 世 帯	18世帯	11世帯	62世帯	67世帯
合 計	33世帯	17世帯	130世帯	124世帯

ウ 生活支援員登録者数75人 (任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日)

※平成29年度は、生活支援員の1人増員に伴い、日常生活自立支援事業の概要、支援の流れ、活動の留意点等について、個別の新任研修を実施した。

エ 生活支援員雇用者数 48人

※生活支援員が、延912人の利用者に対して支援を行い、事務局に毎月ケース記録の報告書を提出した。

オ 生活支援員研修会

日 時：平成30年2月27日（火）

会 場：高崎市総合福祉センター

参加者：47人

内 容：「体験してみよう！発達障害の世界」

講 師 群馬医療福祉大学 川端奈津子 氏

(16) 福祉人材バンク事業

福祉関係の求人の受付、就職の斡旋のほか福祉の仕事に関する広報啓発活動、就職ガイダンス、地区別ミニ就職面接会等の福祉人材開発事業を実施した。

また、マッチング機能強化事業による個々の求職者にふさわしいマッチング支援や職場開拓を行った。

職種別取扱状況

区 分	求 人		求職者数(人)	紹介者数(人)	就職者数(人)
	申込件数(件)	求 人 数(人)	29年度 (28年度)	29年度 (28年度)	29年度 (28年度)
	29年度 (28年度)	29年度 (28年度)			
ホームヘルパー	123 (143)	256 (297)	8 (7)	6 (13)	8 (7)
介 護 職	1,029 (1,025)	2,416 (2,456)	340 (422)	101 (114)	77 (81)
相談・支援・指導員	179 (186)	311 (304)	105 (127)	35 (22)	20 (10)
保 育 士	83 (116)	136 (179)	34 (64)	3 (22)	6 (20)
看 護 職	318 (292)	620 (538)	24 (44)	7 (7)	2 (7)
介護支援専門員	65 (84)	83 (114)	53 (47)	12 (10)	8 (12)
事 務 職	42 (8)	44 (10)	14 (19)	8 (5)	4 (1)
栄 養 士	16 (6)	22 (7)	2 (7)	1 (2)	1 (0)
調 理 員	40 (51)	76 (71)	6 (8)	0 (3)	0 (1)
理学療法士等	23 (20)	37 (36)	3 (0)	0 (1)	0 (1)
そ の 他	81 (84)	115 (116)	23 (23)	2 (5)	3 (3)
合 計	1,999 (2,015)	4,116 (4,128)	612 (768)	175 (204)	129 (143)

(17) 介護保険居宅介護支援事業

居宅要介護者が適切に介護保険サービスを利用できるよう、心身の状況、環境、家族の希望等を踏まえ、関係機関との連絡調整を密にし、介護サービスプランを作成した。また、市内に居住している人の委託の要介護認定調査を行った。

事業所別実施状況（延人数）

（単位：人）

	中央居宅介護支援センター（本所）		倉渕居宅介護支援センター（倉渕）		北部居宅介護支援センター（群馬）		南部居宅介護支援センター（吉井）		
	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	
居宅介護支援	2,156	2,100	788	754	1,612	1,514	839	769	
受託	介護予防プラン	319	294	44	62	312	324	132	128
	介護予防マネジメント	404	380	230	299	249	249	109	109
	要介護認定訪問調査	53	72	3	7	36	33	31	31

(18) 介護保険等訪問介護事業

ア 介護保険サービス

ホームヘルパーが利用者宅を訪問し、身体介護や生活援助等を行った。

事業所別実施状況（延人数）

（単位：人）

	中央訪問介護センター（本所）		北部訪問介護センター（榛名）		南部訪問介護センター（吉井）	
	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度
訪問介護 ※1	1,273	1,070	528	558	197	120
介護予防訪問介護※2	933	863	420	460	71	115

※1 対象者は要介護認定者

※2 介護予防・日常生活支援総合事業の予防訪問介護相当サービスが含まれる。対象者は要支援認定者及び総合事業対象者（要介護認定なしで高崎市指定のアセスメントシート2015により審査認定された者）

イ 介護保険外サービス

高崎市より受託している「産後ママヘルパー派遣業務」として、高崎市保育課よりヘルパー派遣依頼を受け、産褥期の母親のいる家庭に訪問し、育児・家事等の必要なサービスを行った。

事業所別実施状況（延人数）

（単位：人）

	中央訪問介護センター（本所）		北部訪問介護センター（榛名）		南部訪問介護センター（吉井）	
	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度
産後ママ（受託）※	68	113	4	1	4	0

※対象者は、高崎市より依頼があった産褥期の母親

(21) 障害者総合支援訪問介護事業

ア 障害福祉サービス

日常生活に支障のある障害者（児）の家庭に、ホームヘルパーを派遣し、自分で出来る事はしてもらい、出来ない事を支援することにより、障害の状況や家族の状況等に応じて在宅での生活を援助した。

事業所別実施状況（延人数）

（単位：人）

	中央訪問介護センター （本所）		北部訪問介護センター （榛名）		南部訪問介護センター （吉井）	
	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度
居宅介護 ※1	434	423	175	153	61	64
同行援護 ※2	87	83	—	—	—	—

※1 対象者は、身体・精神・知的障害者（児童含む）であり、高崎市より受給されたサービス支給量の範囲内で契約し、身体介護・家事援助・通院介助サービス等を行った

※2 対象者は、視覚障害者であり、高崎市より受給されたサービス支給量の範囲内で契約し、一緒に買い物や散歩等を提供

イ 移動支援事業

指定障害福祉サービス事業所として、高崎市より受託。市内に居住している障害者及び障害児を対象に高崎市移動支援事業実施要綱に基づいて、外出支援を行った。

事業所別実施状況（延人数）

（単位：人）

	中央訪問介護センター （本所）		北部訪問介護センター （榛名）		南部訪問介護センター （吉井）	
	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度
移動支援（受託）※	25	17	0	0	23	15

※利用者は、主に精神障害者や知的障害者

ウ その他サービス（延人数）

（単位：人）

	中央訪問介護センター （本所）		北部訪問介護センター （榛名）		南部訪問介護センター （吉井）	
	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度
福祉有償運送 ※	79	76	0	0	—	—

※利用者は、障害福祉サービスの受給者

(22) 障害者総合支援生活介護事業（基準該当生活介護）

障害者総合支援法に基づき、地域において生活介護を受けることが困難な障害者に対し、基準該当生活介護（デイサービス）として、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう必要な日常生活上の支援及び介護並びに機能訓練等を行った。

・群馬デイサービスセンター 利用者 1人

(23) 障害児通所支援事業（吉井）

利用児童が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行った。

「はばたき」利用状況

	開所日数	在籍数	年間利用人数
28年度	292日	21人	2,270人
29年度	292日	21人	2,363人

(24) 高崎市社会就労センターセルフ楽間（指定管理）

一般企業に就労及び適応することが困難な障害を有する方に対し、福祉的就労の場や生産活動の機会を提供し、個別支援計画に沿った就労継続支援B型サービスを通じて利用者の自立支援に努めた。

ア 利用定員 20人（在籍数：19人）

イ 開所日数 245日

ウ 延べ利用人数 4,641人

エ 就労支援事業内容（2グループ体制で実施）

- ・組立作業（ダンボールパッド、のり養殖キット等）
- ・検品作業（ポーチ、ケース、カー用品、アウトドア用品等）
- ・パッケージング作業（ホチキス、ネジ、建材等）
- ・清掃、除草作業（公園、公共施設の除草、公立高校体育館清掃）

オ 就労支援事業状況

上記生産活動等により7,579,265円の売上高を得て、必要経費を控除した6,872,898円を利用者に工賃として支給した。

カ 利用者家族と連携を図るため、家族連絡会を2回開催した。

キ 利用者の慰労や相互の親睦を図るため、納会を開催した。

ク 利用者の健康管理及び防災体制の強化のため、利用者健康診断を1回、防災訓練を2回実施した。

(25) 吉井障害者自立支援センター（指定管理）

○就労継続支援B型

一般企業に就労及び適応することが困難な障害を有する方に対し、福祉的就労の場や生産活動の機会を提供し、個別支援計画に沿った就労継続支援B型サービスを通じて利用者の自立支援に努めた。

ア 利用定員 20人（在籍数：16人）

イ 開所日数 251日

ウ 延べ利用人数 4,018人

エ 就労支援事業内容

- ・製造、販売作業（花壇・プランター用花苗及び鉢花の生産販売、花壇管理）
- ・組立作業（自動車部品等）
- ・清掃作業（吉井福祉センター）

オ 就労支援事業状況

上記生産活動等により8,304,809円の売上高を得て、必要経費を控除した

4,293,400円を利用者に工賃として支給した。

カ 利用者家族と連携を図るため、「保護者会」を3回開催した。

キ 利用者の慰労や相互の親睦を図るため、施設外研修、誕生会、その他の季節行事を開催した。また、地域との交流を図るため「こはぎ祭」を開催した。

ク 利用者の健康管理及び防災体制の強化のため、利用者健康診断を1回、防災訓練を2回実施した。

ケ 生活・余暇活動支援内容

・調理実習、金銭管理

・「吉井心身障害児(者)父母の会」主催のバスハイク、新春のつどい等への参加

○生活介護

常時介護や援助を要する障害を有する方に対し、入浴・排泄及び食事等の介護、創作又は生産活動の機会の提供及びその他必要な援助や訓練を実施し、個別支援計画に沿った生活介護サービスの提供を通じて、利用者の自立支援に努めた。

ア 利用定員 10人(在籍数：12人)

イ 開所日数 245日

ウ 延べ利用人数 2,051人

エ 生活介護事業内容

・食事、排泄等の個々に必要な介護

・入浴(月・木)、音楽活動(金)、レクリエーション、歩行訓練・外気浴等

・日常生活・身体機能等の維持向上訓練

・生産活動(組立作業等)、創作活動(マット編み等)

オ 利用者家族と連携を図るため、「保護者会」を3回開催した。

カ 利用者の慰労や相互の親睦を図るため、施設外研修、誕生会、その他の季節行事を開催した。また、地域との交流を図るため「こはぎ祭」を開催した。

キ 利用者の健康管理及び防災体制の強化のため、利用者健康診断を1回、防災訓練を2回実施した。

ク 余暇活動支援内容

・「吉井心身障害児(者)父母の会」主催のバスハイク、新春のつどい等への参加

(26) 地域活動支援センター(指定管理)

利用者が生活訓練や作業を通じて社会生活に対応できるよう援助した。

ア 開所日数及び利用者在籍状況

施設名	定員	在籍者数	開所日数	年間利用人数
箕郷福祉作業所	20人	15人	241日	3,145人
群馬福祉作業所	10人	8人	241日	1,667人

イ 作業内容

○箕郷福祉作業所(さくらそう)

・就労支援 ホチキス針箱詰、布団生地分別リサイクル作業、福祉会館清掃
オリジナル製品製作、段ボール組立作業

・自立支援 生活訓練、所外訓練(年6回)、当番活動、みんなの会(年12回)

・情操支援 体操指導(年12回)、音楽指導(第2・第3水曜日)、
季節行事(花見会、春の研修会、こいのぼりの会、七夕、あいあいレクリエーション、りんご狩り、クリスマス会、初詣、豆まき、ひな祭り)

・その他 保護者会(年3回)、運営委員会兼保護者会(年2回)

○群馬福祉作業所（こばと）

- ・ 就 労 支 援 ホチキス針箱詰・袋詰、ボール洗浄、手芸品
- ・ 自 立 支 援 料理教室、野外研修、戸外研修、宿泊研修
- ・ 情 操 支 援 茶道教室、太鼓教室、読み聞かせ、あいあいレクリエーション、納涼祭、花見、クリスマス会、節分会、ひなまつり
- ・ そ の 他 保護者会（年4回）

(27) 児童館事業（指定管理）

児童が健全で安全な遊びを通じて、心身の発達を図り豊かな情操を育むことを目的に運営する。年齢が異なる児童が交流する中、多様な遊びや活動に参加できるよう工夫し、地域での子育ての拠点として活用されている。

利用状況

施設名	年度	開催日数(日)	児童(人)	保護者(人)	合計(人)	主な事業内容
倉賀野児童館	28年度	293	12,698	8,684	21,382	卓球、将棋、お茶会、料理、
	29年度	293	12,303	8,522	20,825	
豊岡児童館	28年度	293	14,152	7,433	21,585	親子遊び、移動児童館、
	29年度	293	13,599	7,192	20,791	
井野児童館	28年度	293	12,776	9,264	22,040	子育て講座、児童館まつり等
	29年度	293	13,861	9,383	23,244	
群馬児童館	28年度	293	12,598	8,093	20,691	
	29年度	293	13,486	9,325	22,811	

(28) 長寿センター事業（指定管理）

60歳以上の市民の健康づくりを推進するとともに、各教養教室開催等により福祉の増進を図った。

利用状況

施設名	年度	開館日数	利用人数	実施事業
群馬長寿センター	28年度	290日	62,938人	各種教養教室 文化祭
	29年度	291日	60,750人	
新町長寿センター	28年度	238日	15,134人	介護予防体操 介護予防教室等
	29年度	241日	15,738人	
新町鉄南長寿センター	28年度	241日	12,364人	
	29年度	241日	10,127人	

(29) 各団体事務局の運営及び支援

- ア 群馬県共同募金会高崎市支会事務局の運営
- イ 高崎市民生委員児童委員協議会事務局の運営
- ウ 倉淵、箕郷、群馬4地区、新町、榛名及び吉井地区民生委員児童委員協議会事務局の運営
- エ 倉淵、箕郷、群馬、新町、榛名及び吉井地区社会福祉協議会事務局の運営

- オ 高崎市ボランティアグループ連絡協議会事務局の運営
- カ 高崎地区更生保護女性会事務局の運営
- キ 高崎地区更生保護女性会支部への支援（箕郷、群馬）
- ク 高崎市ふれあい・いきいきサロン推進連絡会事務局の運営
- ケ 倉渕地区長寿会連合会及び倉渕身体障害者団体への支援
- コ 箕郷地区長寿会連合会、箕郷町身体障害者団体、箕郷町心身障害児者父母の会及び箕郷地区の各ボランティア団体への支援
- サ 高崎市身体障害者団体連合会群馬支部、高崎市手をつなぐ親の会群馬支部及び群馬地区ボランティアグループ連絡協議会への支援
- シ 新町地区長寿会連合会、新町母子寡婦会への支援
- ス 榛名地区長寿会連合会、榛名地区身体障害者団体、榛名地区ボランティアグループ連絡協議会及び榛名療育父母の会への支援
- セ 吉井地区長寿会連合会、吉井町ボランティアの会、吉井町身体障害者連合会及び吉井心身障害児（者）父母の会への支援

3 公益事業

(1) おもちゃの図書館事業

発達の遅れが心配な子どもたちが、たくさんのおもちゃと豊かな遊びを通じて言語等の発達や社会性が育まれるよう支援した。

ア おもちゃの図書館「あひる」

- ・ 開設場所 高崎市総合福祉センター1階
- ・ 開館日 第1～4水曜日・金曜日

利用状況

	28年度		29年度	
	児童	保護者等	児童	保護者等
あひる	533人	497人	478人	440人
開館日数	79日		79日	

発達相談事業および諸行事（あひる）

	発達相談		季節の制作	諸行事
	回数	延人数		
28年度	11回	41人	・こいのぼり・母の日 ・父の日・七夕飾り ・敬老の日・節分	・夏まつり ・運動会 ・クリスマス会
29年度	10回	42人	・おひなさま	・卒館式

イ 児童館で実施しているおもちゃの図書館

障害のあるなしに関わらず、誰でもたくさんのおもちゃや友達と遊べるように児童館でもおもちゃの図書館を実施した。

利用状況

(単位：人)

	28年度		29年度	
	児童	保護者等	児童	保護者等
らっこ（豊岡児童館）	409	367	351	296
ひまわり（井野児童館）	160	154	192	179
たんぼぼ（倉賀野児童館）	280	260	190	177
さくらんぼ（群馬児童館）	—	—	246	227
合計	849	781	979	879

※おもちゃの図書館の利用人数は、P24（27）児童館事業の各児童館の利用人数に含まれる

(2) 福祉会館事業（指定管理）

福祉センター2館と福祉会館2カ所の指定管理を市から受け、施設の有効利用に努めた。

利用状況

施設名	28年度		29年度	
	開館日数	利用者人数	開館日数	利用者人数
倉渕福祉センター	311日	54,267人	311日	50,695人
箕郷福祉会館	293日	7,193人	293日	7,163人
群馬福祉会館	293日	39,440人	293日	39,432人
吉井福祉センター	293日	20,340人	293日	21,010人

(3) 配食サービス事業

ひとり暮らし高齢者等を対象に配食サービスを提供し、健康保持及び安否確認を行った。

実施状況

	箕郷	榛名
提供回数	143回	50回
提供食数	4,032食（内補助なし836食）	662食
実人数	42人（内補助なし12人）	17人

(4) 高齢者あんしんセンターの運営（受託事業）

高崎市にある日常生活圏域46カ所のうち、北・東・西地区を担当し、地域住民の保健福祉の向上及び福祉の増進を目的に、地域住民の心身の健康保持及び生活の安定のための支援を包括的に行った。

ア 総合相談支援業務

地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、積極的に地域に出向き、相談を受け、適切な保健・医療・福祉サービス関係機関や制度利用につなげる支援を行った。

項 目		28年度	29年度
相談件数合計（延べ）		3,539件	1,884件
相談方法	電話	1,982件	897件
	来所	765件	385件
	訪問	614件	574件
	その他	178件	28件
主に認知症に係る相談（延べ）	65歳以上	44人	23人
	65歳未満	1人	0人

イ 権利擁護業務

地域の住民や民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題解決ができない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状態にある高齢者が、地域において安心して尊厳ある生活を行うことができるように支援した。

（単位：件）

項 目		28年度	29年度
権利擁護に関する相談		77	15
相談内容	成年後見	22	11
	措置の支援	5	1
	地域福祉権利擁護	8	2
	高齢者虐待	26	0
	消費者被害	16	1

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、介護支援専門員、主治医、地域の関係機関等多職種の間が連携をし、個々の高齢者の状況や変化に応じて、包括的かつ継続的なケアマネジメントが実現できるように後方支援を行った。

	ケアマネ個別相談件数	支援事業 (研修会等) 実施
28年度	1,152件	3回
29年度	484件	3回

エ 地域ケア会議の推進

個別ケースについて、介護支援専門員、地域関係者、介護サービス事業者、保健医療関係者等の他職種が参加し、多角的視点から検討を行い課題解決に向けての会議を開催した。

(単位：件)

	地域ケア会議
28年度	1
29年度	1

オ 認知症施策の推進

認知症の人に対し、状態に応じた適切なサービスが提供されるように、認知症専門医療機関や介護サービス従事者等、地域において認知症の人を支援する関係機関との連携を図った。また、地域住民が認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう啓発活動を行なった。

(単位：回)

	認知症サポーター養成講座	認知症についての講話	認知症カフェ
28年度	1	0	2
29年度	1	7	6

カ 在宅医療・介護連携の推進

在宅医療に関する相談について、在宅医療・介護連携拠点へ情報を提供し、連携を図る。また、市と協働して在宅医療・介護サービスの提供体制の整備を推進した。

キ 生活支援サービスの体制整備

第2層協議体（北・東・西地区）では、日常生活圏域等における各地域の支え合いの創出に向けて協議体を設置した。社会資源やニーズに関する情報収集、生活支援の担い手の養成、資源・サービスの開発や関係者のネットワーク化に向けての検討会を月1回の定例会として開催した。

(単位：人)

開催名	開催日	参加人数
第3回協議体会議	H29. 4. 12	20
第4回協議体会議	H29. 5. 17	14
第5回協議体会議	H29. 6. 21	17
第6回協議体会議	H29. 7. 19	13
第7回協議体会議	H29. 8. 16	12
第8回協議体会議	H29. 9. 20	16
第9回協議体会議	H29. 10. 18	12
第10回協議体会議	H29. 11. 15	15
第11回協議体会議	H29. 12. 20	17
第12回協議体会議	H30. 1. 17	15
第13回協議体会議	H30. 2. 21	15
第14回協議体会議	H30. 3. 14	17

ク 一般介護予防事業

筋力体操やストレッチ等の介護予防に取り組むことによって、自立の促進を図り、社会参加意欲を高めた。

	事業名	開催数	延べ参加人数	備考
28年度	元気はつらつ教室	全28回	410人	14回×2クール
29年度	元気はつらつ教室	全40回	766人	通年型

※平成28年度の教室は途中参加が出来なかったため、29年度は、いつでも教室に参加できるように通年型で開催した。

ケ 指定介護予防支援業務・第1号介護予防支援事業

要支援者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者が、介護予防と自立支援の視点を踏まえ、適切にサービスを利用できるよう、介護予防サービス・支援計画を作成した。

(単位：件)

サービス種類	項目	区分	28年度	29年度
介護予防支援	予防プラン作成数	直営	406	193
		委託	1,718	1,225
介護予防 ケアマネジメント	基本チェックリスト実施数		40	37
	総合事業プラン等作成数	直営	215	265
		委託	490	1,274

コ 地域が実施する活動への支援

サロン等の充実に向けて支援する中で、介護予防の普及啓発を行った。

(単位：回)

	地区サロン	町内会等地域行事
28年度	75	0
29年度	71	2

サ 地域の関係機関との連携

地域関係者や介護サービス事業者、保健医療関係者等との連携を図り、地域の高齢者の見守りや支援についての情報交換や高齢者本人の課題解決について話し合いを行った。

(単位：回)

	地域連携会議	運営推進会議
28年度	6	16
29年度	6	12

シ 在宅福祉サービスに関する業務

高齢者が介護保険外の高齢者在宅サービスを適切に利用できるように支援した。

(単位：件)

項目	28年度	29年度
高齢福祉サービス申請手続き代行	125	151

(5) 生活困窮者自立相談支援事業

市役所社会福祉課生活支援担当に、職員4名を外向させ、生活困窮者自立支援制度に基づく相談支援業務に従事した。

ア 実施状況

	新規相談件数	継続相談件数	プラン作成 件数	就労者数	増収者数
28年度	481件	1,680件	120件	68人	19人
	計 2,161件				
29年度	506件	1,491件	112件	63人	18人
	計 1,997件				

イ 支援調整会議の開催（年12回）

相談員が作成した支援プランについて、ケースごとに専門機関の関係者を集めて協議検討した。

4 収益事業

収益事業

財源確保のため収益事業を行い、健全な経営と利益の効率化に努めた。

種 別	場 所	従業員数	備 考
売 店 経 営	斎場会館	3人	通年（友引の日以外）
	倉渕福祉センター	2人	通年
自動販売機設置	2カ所5台	—	通年 中央公民館 1台 染料植物園 4台
自賠責保険及び国内 旅行保険取扱い	本所	—	通年 取扱件数 114件

※従業員はパート